

抗菌剤を飲むお子様の保護者の方へ 粉薬の上手な飲ませ方

監修：金沢大学医薬保健研究域医学系 小児科 教授 和田 泰三 先生

- 以前にお薬を飲んで、かゆみや発疹などのアレルギー症状が出たことのあるお子様については必ず医師または薬剤師に伝えてください。
- 他にお薬を飲んでいる場合は、医師または薬剤師に伝えてください。また、他の病院を受診する場合や薬局などで他のお薬を購入する場合は、飲んでいる抗菌剤の名前を伝えてください。
- 医師または薬剤師の指示なしに、飲むのを中止したり、お薬の量を変えないで、指示通りに飲ませてください。

基本的な飲ませ方

- お薬の1回量を小さな容器に入れて、1回に飲み切れる少量の水かぬるま湯を加えてよくかき混ぜ、お薬が沈殿しないうちに全て飲ませてください。容器にお薬が残っていたら、水またはぬるま湯を少し足して飲ませ、飲み残しのないようにしてください。



乳幼児への飲ませ方のコツ

- コップなどの容器から飲むことが難しい乳幼児の場合は、水やぬるま湯に溶いたお薬をスポイトやスプーンを使って少量ずつ直接口の中に入れてあげてください。
- また、少量の水を加えて清潔な指やスプーンで練り、ペースト状にしたお薬を指でお子様のほほの内側や上あごに塗りつける方法もあります。この時はお子様が嫌がらないように1～2回で手早く済ませるようにしてください。
- 口の中に残ったお薬が苦くなることがあります。お薬を飲み終わった後には、必ず水やミルクなどを飲ませてお薬が口の中に残らないようにしてください。
- 苦手なお薬を飲むことができた時は、少しおおげさかなと思うくらいに褒めてあげてください。



お水やぬるま湯で飲みにくいときに飲みやすくする工夫

- お水やぬるま湯の代わりに、次のものと混ぜると飲ませやすくなります。



アイスクリーム



ミルクココア



プリン



お薬ゼリー

チョコレート味など
酸味のないものを
選びましょう

- 次のものと混ぜると苦みがでるお薬がありますので避けてください。



スポーツドリンク



ジュース



乳酸菌飲料



ヨーグルトなど
酸味のあるもの

飲ませる時の注意点

- 水やぬるま湯、飲みやすくする飲食物と混ぜる場合は、お薬を飲ませる直前に混ぜてください。
- ミルクやご飯、パン、うどんなど主食にあたるものにお薬を混ぜないでください。
- ボツリヌス症の心配があるので、1歳未満のお子様には、お薬を混ぜるのにハチミツを使用しないでください。
- 医師や薬剤師の指示がないときは、他のお薬と混ぜて飲ませないでください。

保管に関する注意点

- お子様の手の届かないところに保管してください。
- 光と高温多湿を避けて保管ください。

副作用に関する注意点

- 下痢や皮疹などの症状があらわれた場合や何か気になる症状があらわれた場合は、医師または薬剤師に相談してください。



日医工株式会社